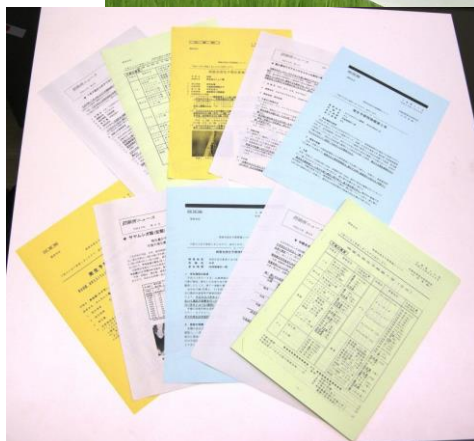


農作物巡回調査の結果を基に情報を発信

病害虫防除所では、2月下旬から10月中旬まで、毎月巡回調査を行い、その調査結果を基に主要な農作物の病害虫について、向こう1か月の発生量を予測した病害虫発生予察情報（予報）を発表しています。

今夏は、水稻、豆類や野菜での病害虫の発生が多く、定期的に発行する予報に加えて、新たに発生を確認した害虫や今後発生に注意を要する害虫についても適宜、発生予察注意報や特殊報、防除所ニュースを発表し、生産現場における注意喚起や防除対策の徹底を呼び掛けました。

今後も、巡回調査等により病害虫の多発等現場への注意喚起の必要性を認められた場合は、速やかに情報提供を行っていく予定です。



上：害虫すくい取り調査の様子

左：7月～8月に発表した各種情報

（予報：2本、注意報：2本、特殊報：2本、
防除所ニュース：4本）